

● エアコンの設置場所について

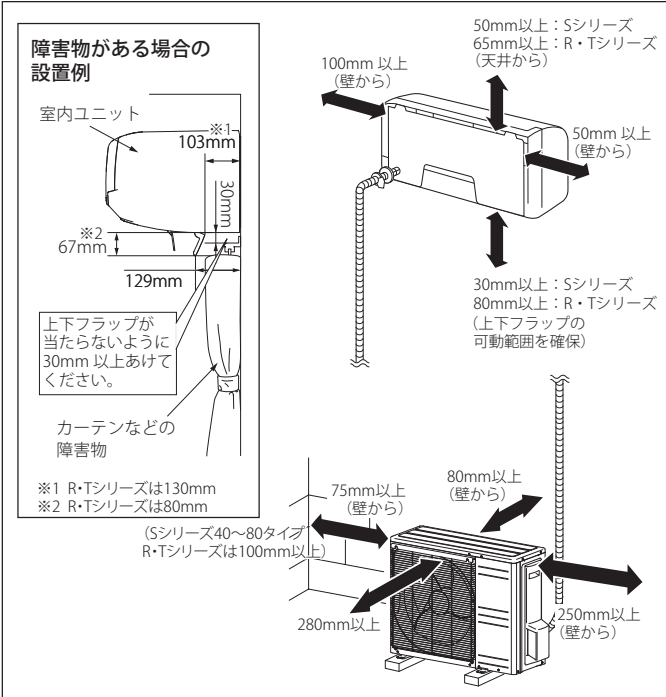
● 室内機設置場所の注意点

- ①風の障害がなく、部屋に冷風風が行き渡る所。
- ②室内機や壁が振動しない丈夫な所。
- ③サービススペースのとれる所。(右図参照)
- ④ドレン排水が容易にできる所。
- ⑤テレビ・ステレオ・ラジオから1m以上離れた所。
(映像が乱れたり、雑音が生じたりすることがあります)
- ⑥高周波機器、電線機器の影響を受けない所。
- ⑦油の飛沫の多い所はさけてください。
- ⑧受信部に直射日光や強い照明灯の光が当たらない所。
- ⑨電子瞬時点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)とエアコンの本体はできるだけ離してください。リモコンの送信距離が短くなる場合があります。
- ⑩室内機の下に家電製品や家財などがない所。
- ⑪火災警報器がエアコンの吹き出し口から1.5m以上離れている所。

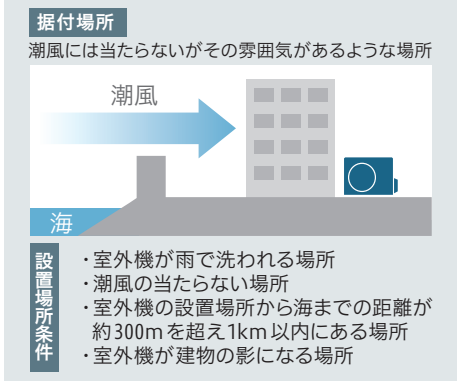
● 室外機設置場所の注意点

- ①雨や直射日光のあたりにくい風通しのよい所。
- ②室外機の質量に十分耐える場所で、運転音や振動が増大しない丈夫な場所。
- ③サービススペースのとれる所。(右図参照)
- ④吹き出した風や運転音が隣家に迷惑をかけない所。

- 下記のような所は避けて設置ください。
- 塩害地、ビル上階部などの常時強風が当たる所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある所。
- ファン吹き出し風が植木等に当たる所。
- 吸入口・吹き出し口付近がふさがれない所。
- 近くに悪臭等がなく空気が清浄な所。
- 油・蒸気・油煙の発生する所。
- 小動物のすみかになるような所。
- ベランダの手すり近く。
- ドレン排水しても問題がない所。



● 耐塩害仕様室外機の据付設置場所について



⚠ 耐塩害仕様室外機採用時の安全に関するご注意

耐塩害仕様室外機を使用した場合でも、腐食に対しては必ずしも万全ではありません。エアコンの設置やメンテナンスに際しては下記事項に留意ください。

- 1. 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。また、波しぶき等が直接かかる場所への設置は避けてください。
- 2. 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるようにしてください。室外機には日除け等を取り付けられないなど配慮してください。
- 3. 室外機底板内への水の滞留は、著しく腐食状態を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意してください。
- 4. 海岸地帯への据付品については付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- 5. 据付、メンテナンス等で付いた傷は、補修してください。
- 6. 機器の状態を定期的に点検してください。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。
- 7. 基礎部分の排水性を確保してください。

● 冷媒配管距離・異径配管接続可否基準

接続冷媒配管は、配管長・高低差の範囲内で据え付けてください。
(冷媒の追加チャージは必ず行なってください。)

形 式		冷媒配管距離の制限値				異径配管接続可否基準														
		配管長	高低差		冷媒の追加 チャージ量	既設配管	液管外径	φ6.35	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52								
			室外機下方	室外機上方			ガス管外径	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ15.88	φ12.7								
ルームエアコン	SRK2223S, 2523S, 2823S, 3623S, 4023S2, 5623S2 SRK4023R2, 5623R2 SRK4023T2, 5623T2 SRK2523SK2, 2823SK2, 4023SK2, 5623SK2	25m	15m	15m	配管長が15mを超える場合 1m当り20g補充	接続可否区分	標準接続	○	×											
	SRK6323S2, 7123S2, 8023S2	25m	15m	15m	配管長が15mを超える場合 1m当り20g補充	最大配管長／チャージレス配管長	25m/15m	25m/15m												
						許容	室外機下方	15m					8m							
						高低差	室外機上方	15m					8m							
	SRK2223R, 2523R, 2823R, 3623R SRK2223T, 2523T, 2823T, 2823T2, 3623T	20m	10m	10m	配管長が10mを超える場合 1m当り20g補充	接続可否区分	△	標準接続	×											
						最大配管長／チャージレス配管長	25m/15m	25m/15m												
						許容	室外機下方	15m					15m							
	ハウジングエアコン	SRT28X2, 36X2, 40X2, 50X2	35m	20m	20m	配管長が10mを超える場合 1m当り20g補充	接続可否区分	標準接続					○	▲						
		SRT22X2, 25X2 SRTW40X2, 50X2 SKU25X2, 26X2, 36X2, 45X2 SRF28X2, 40X2, 50X2	30m				最大配管長／チャージレス配管長	35[30]m/10m	35[30]m/7m	15m/5m										
							許容	室外機下方	20m	10m	6m									
							高低差	室外機上方	20m	10m	6m									
		SRT56X2 SRTW56X2	35m 30m				20m	配管長が10mを超える場合 1m当り20g補充	接続可否区分	△	標準接続	▲								
最大配管長／チャージレス配管長									35[30]m/10m	35[30]m/10m	15m/5m									
許容				室外機下方	20m	20m			6m											
マルチエアコン		SCM46X2, 52X2, 56X2 SCM60X2 SCM68X2.71X2, 80X2	1室当り20m 2室合計30m 1室当り25m 全室合計50m 1室当り25m 全室合計80m	15m 15m 15m	10m 10m 10m	2室合計の配管長が20mを超える場合1m当り20g補充 全室合計の配管長が40mを超える場合1m当り20g補充 全室合計の配管長が60mを超える場合1m当り20g補充	既設配管	液管外径	φ6.35	φ6.35	φ6.35	φ9.52	φ9.52							
														接続可否区分	標準接続	○	▲			
														最大配管長／チャージレス配管長	35[30]m/10m	35[30]m/10m	15m/5m			

注) 異径配管接続の場合は現地にて異径配管継手が必要となります。

● 既設配管の再利用OK

既設配管がそのまま使えるから、据付工事の時間も短縮。エアコンの入れ替え工事が簡単になりました。

- 既設配管はそのまま再利用OK！（但し、配管厚は0.8mmであることが前提条件です）
- 既設配管の再利用でも、従来冷媒と手間は変わりません。
- 配管作業における「水分・異物混入管理」は従来冷媒（R22）と全く同レベルです。

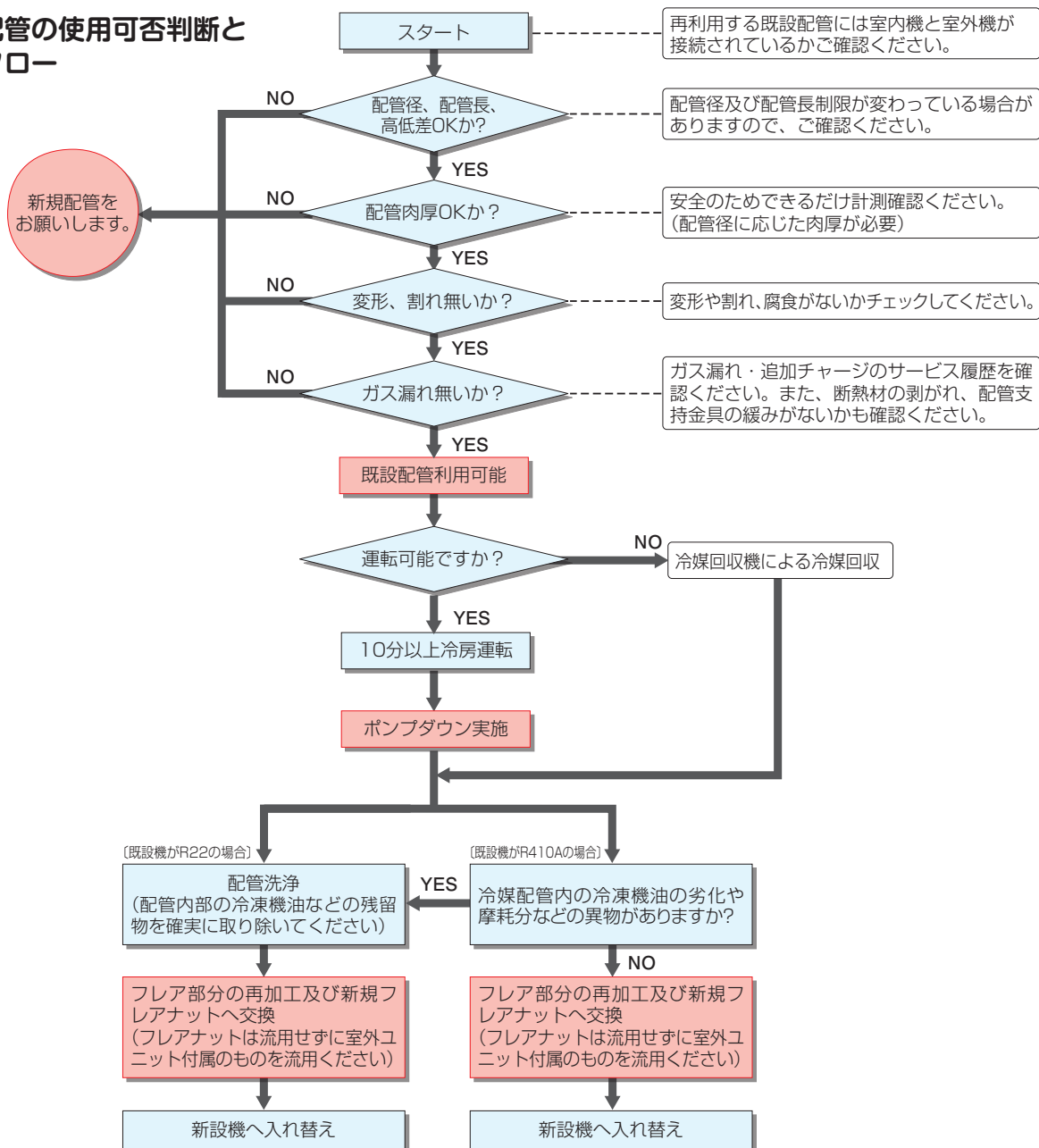
既設配管再利用の場合のご注意

- 古いエアコンの取り外しの際には必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を行うこと。
- 配管肉厚が0.8mmあること（JIS規格の配管）。

（注）既設配管の再利用を薦めるものではありません。再利用の可否については施工業者様と打合せください。

* 施工用工具はR410A用をご使用ください。
R32採用商品についてもR410Aと同じ工具類が利用できます。
* 一部の機種では、接続配管径の仕様が異なりますので、この場合は買い替え後のエアコンに合った新しい配管を使用してください。

既設配管の使用可否判断と作業フロー



■ハウジングエアコンの既設配管再利用について

2003年以前に発売されたモデル（形式末尾がAKF、KRZ、KR）からの入れ替えに関しては、冷凍機油が異なりますので、既設配管の内壁に付着の冷凍機油を窒素ブローで取り除くことで再利用が可能となります。ただし、異物がある場合は配管洗浄してください。

●地球環境保全への取り組み：「エコロジー工事」（真空ポンプ式によるエアバージ）

本カタログの商品は、オゾン層を破壊しない代替物質HFC（R410A・R32）採用商品です。エアコン業界ではオゾン層保護・温暖化防止のため、据付工事の際にも冷媒を大気へ放出しない「エコロジー工事」を推進しております。この工事には専用工具や専門的な知識・技術を必要とし作業時間を要しますので、工事費用への影響も想定されますが、地球環境保全のため、適切な据付工事の実施にご理解くださいますようお願いいたします。